

令和5年度 静岡市食教育推進委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年11月1日(水) 15時～16時30分
- 2 場 所 静岡市役所清水庁舎3階301会議室(静岡市清水区旭町6-8)
- 3 出席者
【委員】

| | | |
|-------------------------|-------|------|
| 静岡市教育長 | 赤堀文宣 | 委員長 |
| 静岡県立大学教授 | 桑野稔子 | 副委員長 |
| 東都大学・静岡英和学院大学短期大学部非常勤講師 | 末永美雪 | 委員 |
| 静岡市PTA連絡協議会副会長 | 小木曾法子 | 委員 |
| 静岡市校長会静岡市立田町小学校長 | 入口強志 | 委員 |
| 静岡市校長会静岡市立観山中学校校長 | 小川富男 | 委員 |
| 教育委員会事務局児童生徒支援課長 | 石川 裕 | 委員 |
| 教育委員会事務局学校給食課長 | 朝比奈直樹 | 委員 |

【事務局】

学校給食課 草谷副主幹、学校給食課 深田主任主事、学校給食課 申指導主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事
 - (1) 開会
 - ・ 挨拶
 - ・ 自己紹介
 - (2) 報告事項 静岡市の学校給食について(食育の取組み)
 - (3) 協議事項 第2期静岡市教育委員会食育推進計画の評価について
- 6 会議内容

(1) 教育長挨拶

○赤堀委員長

皆さまこんにちは。お忙しい中ご対応いただきありがとうございます。本日は今年度第一回食教育推進委員会となります。静岡市の学校給食における食育につきましては、平成30年度からスタートした第2期食育推進計画に基づき、食育の環を広げようを目標に、学校・保護者・地域そして教育委員会がそれぞれの役割の元、連携しながらこれまで進めて参りました。本日の会議では、その第2期の計画の評価を事務局の方から報告いたします。それに対する皆様からご意見を、今年度残りの5か月、そして来年度以降に繋げていきたいと考えておりますので、ぜひ忌憚なきご意見を頂戴できればと思っております。加えて、本年度から学校給食のウェブサイトを更新して新しくスタートいたしました。そちらについても事務局の方から報告させていただき、ぜひ静岡市の学校給食の情報発信ツールとして、ここにいる皆様にも活用していただければありがたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 報告事項「静岡市の学校給食について（食育の取組）」

○事務局(草谷)

【静岡市の学校給食の概要】

- ・ 静岡市の学校給食施設は、複数校の給食を調理する学校給食センターと学校内の給食室で調理する単独調理校があり、1日当たり約5万食の給食を調理し、児童生徒に届けている。

【食に関する指導実施例と成果】

- ・ 給食を生きた教材として、栄養教諭を中心とした食に関する指導を行い、小学校から中学校まで、線としてつながるような食育の推進を図っている。
- ・ 今年度これまでに実施した食育としては、小学生では、1年生「給食ができるまで」、2年生「野菜の力」、3年生「毎日の健康と生活」、4年生「元気な体と食物せんい」、5年生「バランスのよい献立を考えよう」、6年生「工夫して食べようおやつ」「給食の献立を考えよう」、中学生では、1年生「中学校の生活に必要なこと」「給食センターの紹介」、2年生「夏の食生活」、3年生「理想的な食生活について」「成長期の食事について」が主として挙げられる。授業実施後の児童生徒の姿として、どの学年においても「残さず食べよう」という意識の高まりが感じられるという現場からの声が上がっており、また学年が上がるほど、残さず食べるための実際の行動変容も見られるとの意見も聞かれた。

【献立での取り組み】

- ・ ふるさと給食…地場産物を活用した献立、毎月1日は必ず実施
- ・ ふるさと給食週間…6月と11月に5日間連続して地場産物や郷土料理を提供
- ・ わくわく給食…給食が美味しく楽しい時間になるよう、静岡市の自慢の食材を使

った特別な給食を提供する取り組み。公費が投入されており、普段の給食では用意できないような食材を取り揃えている。昨年度はコロナ禍の影響で、給食時間が楽しい時間と言うより、感染予防を優先した給食になっていたため、バーガーを作るとか海苔で巻いて食べるといった、自分で完成させて食べるという体験型のわくわく給食を実施した。非常に好評だったので、今年度も体験型の要素を取り入れ、全5回実施する。今年度は、食材そのものだけでなく食材の産地についての意識も高めるべく、献立名に食材の産地名も入れ込むようにした。わくわく給食の取り組みの啓発資料として、昨年はポスターを全校に配布したが、これについては雑誌の取材を受けるといった反響もあった。今年度はウェブサイト積極的に活用した周知啓発活動に力を入れている。

- ・ 海外料理の提供…国際理解・多文化への理解を深めることを目的としている。例としては、オリンピックの際には、台湾のホストタウンとなったことから、台湾料理を取り入れた。今年度はラグビーのワールドカップにちなみ、ラグビーの強豪国であるオーストラリア・ニュージーランド・イングランドでよく食べられている「フィッシュアンドチップス」を今月提供予定。また、毎年の取り組みとしては、姉妹都市であるフランスにちなみ、しずおかカンヌウィークにフランス料理の提供、10・11月の多文化共生月間には、海外をルーツにもつ子どもたちへの理解を深めるため、ブラジルやアジアの料理を取り入れるなどしている。
- ・ スマイル給食…食物アレルギーや様々な文化信条で普段の給食が食べられない子どもたちが、皆と一緒に食べる機会を設けることを目的に、食物アレルギーの原因となる可能性が高い成分を抜いた献立を、年に1回提供。
- ・ その他、旬の食材を取り入れた献立の提供、日本各地の様々な伝統的な料理の提供、給食の歴史を感じられるような昔の給食献立の提供を実施している。

○事務局(串)

【ウェブサイトの概要と活用状況】

- ・ ウェブサイト名は「しよっかんくんとおいしい静岡いただきます」。しよっかんくんは、市内小中学校55校、児童生徒1900人の応募の中から選ばれた静岡市学校給食のキャラクター。現在Googleの検索バーに「静岡市 給食」と入れると、上から二番目に出てくるのが学校給食課のウェブサイトとなっている。今後周知に力を入れ、まずは検索結果の一番上に出てくることを目指したい。
- ・ ウェブサイトに掲載している情報は大きく6つ。①「献立表やお便り」保護者にとって必要な情報。②「しよっかんくんひろば」視覚的に楽しい食育コンテンツ。③「みんなの給食レシピ」市民の方からリクエストがあった人気の給食レシピを家庭向けにアレンジしたものを公開。現在73レシピを掲載。今後もリクエストがあれば、随時追加していく予定。④「しよっかんくんの旅」食材・献立・調

理など、給食に関わる人たちの情報をブログ形式で発信。⑤「しずおかの給食」静岡市の学校給食に対する想いや目的、取り組みを、動画や写真を用いて発信。⑥「給食ができるまで」学校給食センターの様子や、給食に関わる人たちからのメッセージを動画で発信。本動画を使って教育現場で食育を実施したとの嬉しい報告があった。

- ・ 「しよっかんくんひろば」の中には3つのコーナーがある。「しずおかのたべものマップ」では、静岡市の地図上に食べもののアイコンがちりばめられ、市内のどこでどんな食べものが作られているのかが、視覚的にわかりやすい仕様となっている。また食べもののアイコンをタップすると、食材の説明やその食材を使用した給食の情報が表れるようになっている。「給食タイムトラベル」は、日本の学校給食の歴史や現在の静岡市の学校給食の取り組みが、視覚的に子どもたちの興味を引く仕立てとなっている。「おしえて！しよっかんくん」は、児童生徒・保護者、だれが見てもわかりやすいことを意識して、健康的な食生活に関する情報を発信。特に家庭での取り組みが重要となるテーマについて、給食と絡めて話を展開する仕立てとなっている。また、家庭でも学校でも食育の媒体として使えるよう、授業の指導案同様、つかむ→ついきゅうする→つなげるの流れで話が展開するようにしてある。（ウェブサイト上の媒体を実際に確認）この「おしえて！しよっかんくん」コーナーに関しては、今後さらにテーマの幅を広げるとともに、すでにアップされているものに関して、定期的に内容を精査して、その時の状況に則したものを発信できるようにしていく予定。
- ・ 「しよっかんくんの旅」では、現場の栄養士による給食の裏側や、学校での子どもたちの様子、給食課が作成したお便り等の紹介を、誰でも読みやすいようブログ形式で発信している。また、このコーナーを利用して、市役所関係課での地元食材の取り組みをリンクで共有したり、食育媒体を発信し、学校現場と共有したりといった取り組みも始めている。（動画を実際に視聴）この動画は、給食時間に教室で児童生徒が視聴することを目的として作成したが、小学校の社会の授業での活用報告もあり、今後は動画を教育の様々な場面において活用されることを想定して作成したいと考えている。
- ・ （ウェブサイトを活用した食育の様子を記録した動画を視聴）本ウェブサイトが、児童生徒をはじめ保護者や地域の方々にとって有益な情報発信の要となり、「あそこに行けば食に関する良い情報が得られる」という信頼が寄せられる場となるよう、当面は試行錯誤を重ねながら、育てていきたいと考えている。

○赤堀委員長

ここまでの事務局からの報告に関しまして、何かご意見やご質問はございますか。

○渡邊委員

しよっかんくんひろばにあったカルシウムのコンテンツは、いつ頃作成されたものですか。

○事務局(串)

今年度の9月頃です。

○渡邊委員

よいコンテンツなので保護者に周知したいが、どのように周知したら良いか。

○事務局(串)

周知については、給食課としても課題ととらえ悩んでいるところです。

○石川委員

ウェブサイトのクオリティが高くてとても良いと思いました。校長の立場として、やはり周知が重要と感じますが、今まで周知に関して具体的にどのような取り組みを実施したか教えてください。

○事務局(深田)

ウェブサイト開設当初に保護者に周知文を配付しました。食育関連の資料を学校や家庭に配布する際は、資料中に本ウェブサイトの二次元コードを添付しています。また食育授業実施の際に2次元コードを配付し、ブログ記事のアップロード時に静岡市のTwitterに記事投稿のツイートをしました。

○事務局(串)

現場の先生方への周知として、校務支援パソコン起動時のポップアップ画面にウェブサイトのポスターが表示されるようにしたこともありました。しかし効果的な周知方法がまだ実施できていないと感じています。もし何か、周知についてアイデアがあれば教えて頂きたいです。

○小川委員

校務支援パソコンのポップアップには気づいていましたが、パソコン起動時は忙しいことが多く、そこからアクセスに至ったことはありませんでした。個人的に静岡市のLINEに登録していますが、よく市からのメッセージが入るので、静岡市の公式LINEを活用した発信も、一つの手だと思います。

○入口委員

自分は校務支援システムのポップアップ画面でウェブサイトの存在を知り、アクセスしてみました。内容が充実していて素晴らしいと思いました。周知について、子どもたちはクロムブック(タブレット端末)を授業の中で活用しているので、栄養士が実施する食育の授業もクロムブックを活用すると良いと思いました。ウェブサイトが上がった動画や食材を食育の授業の中で使用し、最後に子どもたちがクロムブックで「お気に入り」に登録する。そのクロムブックを持ち帰った子どもが、同じ教材を使用して家族にプレゼンをする。それにより、食育の内容も浸透するし、子どものプレゼン能力を伸ばすことに繋がり、なおかつアクセス数も上がることが期待できます。また教育センターの情報支援室から許可が得られれば、元からお気に入りに入れることもできます。

○事務局(草谷)

しょっかんくんのキャラクターや動画に関しては、過去の食教育推進委員会でアイデアをいただきました。今形になりつつあるので、現場で活用されるよう、周知に力を入れていきたいと思います。

○石川委員

先生達にしてみると、教材として使えるものがあるとわかっていればアクセスしますが、そうでなければ自分から探してこのウェブサイトに行きつくことは難しいと思います。給食主任者が集まる場などで一斉に周知すると良いのではないのでしょうか。また、保護者目線で考えると、学校での子どもの様子がわかるような発信は興味があると思うので、そういった発信を積極的にしていくことも一つの手だと思います。

○末永委員

ウェブサイトがしっかり作られていて、楽しくて見やすく、給食課の意気込みが感じられてとても良いと思います。質問ですが、ウェブサイト作成には外部の専門家が入っているのでしょうか。

○事務局(串)

ウェブサイトの立ち上げおよび保守運用は外部に委託しています。その中で「しょっかんくんひろば」や「しょっかんくんの旅」は我々の裁量で手を加えることが出来る比較的自由度の高いコーナーという仕様になっています。本当は、もう少し自分たちの裁量で手を加えることができるコーナーを増やし、食育コンテンツを充実させていきたいという思いもありますので、活用実績を増やし、よりよいウェブサイトに育てていきたいと考えています。

○末永委員

ありがとうございます。これまで食教育推進委員としてウェブサイトの立ち上げやキャラクター作成について助言をしてきた立場として、しょっかんくんが可愛らしいキャラクターとして、工夫して活用されていてとても良いと思いました。これからも頑張ってください。

○赤堀委員長

ありがとうございました。頂いたご意見を参考に、学校給食の運営や情報発信に努めていきたいと思えます。では次の議題に移ります。第2期静岡市教育委員会食育推進計画の評価について事務局より報告いたします。

(3) 協議事項 第2期静岡市教育委員会食育推進計画の評価について

○事務局(草谷)

【小中学校への食育の取り組み】

- ・市立全小中学校に対して、アンケート調査を実施。
- ・児童生徒への「食に関する指導」の成果が感じられると評価する学校の割合について、目標値を95%に設定していたが、令和4年度には全体で97%となり、目標を達成することが出来た。
- ・中学校だけで見ると目標値の95%には達しておらず、各施設のニーズに合わせた食に関する指導を進めることが出来るよう、今よりも多岐にわたる「食に関する指導」の指導案作成が課題だと思った。
- ・小中学校への食育の取り組みの成果に関連するアンケート項目として「安全や衛生に気をつけて、給食の準備や片付けをしている児童生徒の割合【目標70%以上】」「好き嫌いなく食べようとしている児童生徒の割合【目標70%以上】」「食べ物や作ってくれている人への感謝の気持ちを表している児童生徒の割合【目標60%以上】」の3つがあるが、いずれも目標を達成することが出来なかった。その理由として、アンケート項目が食に関する指導の成果を直接問うものではなかったことや、アンケートでの聞き方が曖昧で施設によって回答方法が異なってしまい、正しい評価が実施できなかったことが挙げられる。

【保護者・地域への食育の取り組み】

- ・市立小中学校の児童生徒の保護者に対してアンケート調査を実施
- ・家庭での食育が大切だと思う保護者の割合について、目標値を80%と設定していたが、「思う」と答えた保護者は令和4年度において70%であった。ただし「やや思う」の回答まで含めると、令和4年度も含め、ほぼすべての年で99%を達成することが出来た。
- ・家庭での食育推進に関連するアンケート項目として「家庭での食育において、心

をこめて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをすることが大切だと思う保護者の割合【目標 85%以上】」「家庭での食育において、食事のマナーを守って食事をするのが大切だと思う保護者の割合【目標 80%以上】」「家庭での食育において、栄養バランスを考えて食べるのが大切だと思う保護者の割合【目標 80%以上】」の3つがあるが、いずれも目標を達成することが出来なかった。保護者の意識の低下は子どもの食習慣に大きく影響するので、家庭において実践できる食育情報を発信し、保護者の意識を高める取り組みが必要と考えられる。また、アンケートそのものの課題として、小中学校への食育の取り組み成果と同様、アンケートの聞き方が曖昧で保護者によって回答方法が異なってしまう、正しい評価が実施できなかった。アンケート調査の質問項目や結果の分析方法について再度検討し、次期計画に繋がたいと考えている。

【食育推進委員会の取り組み】

- ・ 市立全小中学校に対してアンケート調査を実施
- ・ 食育に関する取り組みの中で、食育推進のために役立っていると80%以上の学校が評価する取り組みの数が3項目以上になることを目標として設定したが、令和2年度以外は1項目、令和2年度は2項目となり、3項目以上を達成できた年がなかった。評価された1項目は、いずれの年も「栄養教諭・栄養士による指導」であり、最大で96%の評価を得た。
- ・ 評価された1項目以外で、評価の高かった2項目は「情報発信(献立表、給食日より、ホームページ等)が食育推進のために役立っていると思う学校の割合」および「食育啓発資料(新小1年生用冊子「学校給食が始まります」等)が食育推進のために役立っていると思う学校の割合」であり、情報発信については約70%の評価を得ていた。今後も効果的な情報発信の手法について研究していきたいと考えている。
- ・ こちらのアンケートの評価分析方法についても、再度検討が必要。

【全体的な取り組みの評価および評価における課題】

- ・ その他のアンケート結果については資料参照
- ・ 評価においては、保護者及び学校代表者へのアンケート調査結果を分析したが、直接児童生徒に調査していないため、実態把握としては不十分だったと考えている。
- ・ 取組事業の成果等について、すべての取り組みの中から複数を選択する調査方法だったため、選択する取り組みが一つだけの回答もあれば、ほとんどを選択する回答もあり、正確な分析の難しさを感じた。
- ・ 回答の選択肢が「成果を感じるか」「大切だと思うか」等、基準がはっきりせず

回答者の主観に左右される質問が多かったため、基準の一貫性や整合性が保たれる質問内容にすることが必要だと感じている。

- ・栄養教諭、栄養士による食に関する指導については、計画期間を通して目標を達成する評価をいただけたので、これに関しては今後も積極的に推進していきたい。

○赤堀委員長

評価指標の設定の難しさを感じる報告でありました。ここまでの事務局からの報告に関しまして、何かご意見やご質問はございますか。

○桑野副委員長

詳しいご説明をありがとうございました。やはりアンケートについて、もう少し練った方が良かったと感じました。また、アンケートの課題についてもう少し早い段階で気づき、その時点で修正ができればよかったかなと思います。これにつきましては、今議論しても仕方がないことなので、今後はきちんと評価ができるアンケートの作成に尽力していただければと思います。

一点質問ですが、取組の結果資料について、黄色で強調されている数値の根拠をお教えてください。

○事務局(草谷)

直近三年間で数値が下がってしまったものについて強調表示をいたしました。

○桑野副委員長

わかりました。ありがとうございました。

○朝比奈委員

目標設定やアンケートのとり方について、事務局としても今後検討が必要と考えております。第3期静岡市食育推進計画では、第2期での課題を踏まえて検討・整理をしたうえで、次回の食教育推進委員会でお示しできればと思います。ウェブサイトに関しては、今回様々なアイデアをいただきましたので、今後さらに周知に注力するとともに、継続可能な範囲でまめに更新し、色あせないよう努めていきたいと思っております。

○赤堀委員長

これにて本日の委員会の議事は終了となります。本日頂いた意見を参考にしながら食育の推進をしていきたいと考えております。特に情報発信に関しましては、職員も頑張っているところですので、今後とも皆様のお知恵を借りながら、皆様に示していけれ

ばと思います。これにてすべての議事が終了となります。進行を事務局にお返しします。

○事務局(草谷)

次回の食教育推進委員会では、第3期静岡市教育委員会食育推進計画の素案となるものを示したいと考えております。日程が決まりましたらご連絡いたしますので、次回もよろしくお願いいたします。

委員長 赤堀文宣

議事録署名人 桑野稔子